

小田原市教育委員会臨時会会議録

1 日時 令和元年（2019年）8月6日（火）午後7時00分～午後8時15分

場所 小田原市役所 7階 大会議室

2 出席者氏名

- 1 番委員 栢 沼 行 雄（教育長）
- 2 番委員 和 田 重 宏（教育長職務代理者）
- 3 番委員 萩 原 美由紀
- 4 番委員 吉 田 眞 理
- 5 番委員 森 本 浩 司

3 説明員等氏名

理事・教育部長	内 田 里 美
教育部副部長	友 部 誠 人
教育総務課長	飯 田 義 一
学校安全課長	鈴 木 一 彰
教育指導課長	石 井 美佐子
教育指導課指導・相談担当課長	大須賀 剛
教育指導課指導主事	楠 喜久子
学校安全課副課長	中津川 博 之
学校安全課主査	府 川 明 弘

(事務局)

教育総務課副課長	府 川 雅 彦
教育総務課主任	小 林 綾 野

4 議事日程

日程第1 議案第35号 令和2年度使用小学校教科用図書（算数・理科・生活・音楽・道徳）の採択について（教育指導課）

日程第2 議案第36号 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について（教育指導課）

5 報告事項

小田原市学校給食センター整備基本構想（案）について【非公開】（学校安全課）

6 議事等の概要

(1) 教育長開会宣言

栢沼教育長…本日の出席者は5人で定足数に達しております。

(2) 会議録署名委員の決定…吉田委員、森本委員に決定

栢沼教育長…議事に入る前に、会議の非公開について、お諮りいたします。

報告事項「小田原市学校給食センター整備基本構想（案）について」は、現在調整中の案件でありますので、その性質上、これを非公開といたしたいと存じます。

報告事項を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

（全員挙手）

栢沼教育長…全員賛成により、報告事項につきましては、非公開といたします。

（３）日程第１ 議案第 35 号 令和 2 年度使用小学校教科用図書（算数・理科・生活・音楽・道徳）の採択について （教育指導課）

教育指導課長…それでは、御説明申し上げます。

7月23日の定例会及び7月30日の臨時会におきまして、小学校教科用図書採択13種目のうち、検定に合格したものが4社以上ある場合について、種目ごとに詳しく御協議いただき、各種目について2社から3社に絞り込んでいただきました。

8月2日の臨時会におきまして、13種目のうち8種目について、採択していただきました。

本日は、算数、理科、生活、音楽、道徳の残り5種目について、本日配付しました資料「令和2年度使用小学校教科用図書発行者候補」の中から、小田原市の児童にとって最もふさわしい教科書を、1種目ごとに1社を採択していただくこととなりますので、よろしく願います。

（質疑・意見等なし）

栢沼教育長…それでは、令和2年度使用小学校教科用図書の採択について、協議に入る前に、採択の方法について確認します。8月2日と同様に、はじめに、候補となっている教科用図書の中で、各委員が、小田原の子供たちにとって最もふさわしいと考える教科書1社について御意見を伺います。その後、挙手による多数決を行い、採択します。3社の場合、上位2社が同数になる場合がありますので、その際は、再度上位2社による多数決を行い、採択します。このような方法で進めていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

栢沼教育長…はじめに、算数の協議から行います。算数は、「東京書籍」「学校図書」「教育出版」の3社が候補となっておりますので、委員の皆様から御意見を伺います。

和田委員…勉強会や絞りこみを経て、今日に至るわけですが、私が一番推薦したかった教科書は絞りこみの段階でなくなってしまいました。同時に、皆さんの意見を伺い、改めて調査し、精査いたしました。算数については、子供たちの成長を見ると、4年生がターニングポイントになっているということは、つまりいた子供たちの支援をしている世界では、当たり前のこととして言われています。そういった点に配慮した教科書がよいという視点で調査し、また、総合的に見て、3社の中でよかったと思うのは学校図書です。4年生の部分を含め、一番バランスが取れて編集されていると思いました。

吉田委員…私も学校図書がよいと思いました。「深めよう」では、具体的に算数を使って日常生活のものなどを調べることができ、生活の中で生きる算数といった勉強の仕方ができること、掛け算や面積について、とても丁寧に、考え方が少しずつ分かっていくような、整理ができるような説明になっていること、3年生以降にある特設単元も算数が苦手な子供でもついていけるような作りになっていると思いましたので学校図書を選びました。

森本委員…私も学校図書を推薦します。教科書全体は、大きく分けて、本単元、特設ページ、巻末の補充問題の3つの部分で構成されていて、本単元で基礎、基本を身に付け、それを特設ページで深め、必要に応じて補充問題に取り組むという設定になっています。こういった工夫が、子供たち一人一人の学力をより確かなものにすることができるようになっていました。教科書が横に広くなっており、開きやすく、教科書上で作業する部分を広くして、子供たちが書きこみやすいよう工夫されていると思いました。以上の点から学校図書を推薦いたします。

萩原委員…私は東京書籍を推薦します。1年生の上巻のみ、A4サイズで開くとフラットになり直接教科書の上にブロックやおはじきを並べて学べる工夫がされています。また、各学年の構成が、必修の問題のほかに特設ページで復習ができるようになっています。巻末にはオプションで、「新しい算数プラス」という補充問題も用意されておりますので、個に対応して学びを進めることができる点がよいと思いました。Dマークが付いていて、インターネットでも確かめられるので、自習に役立つと思いました。また、全国学力学習状況調査の結果などから、正解率の低い内容を分析し、児童がつまずきやすい箇所、特に3、4年生については授業の展開にも配慮された構成になっていました。以上の理由から東京書籍を推薦します。

栢沼教育長…私は東京書籍を推薦します。全体を通じて、入門期に算数嫌いをさせない教科書であると思いました。特に2年生以降の「たしかめよう」では、問題に対して解決の仕方が想起できる手引きが掲載されており、学習したページに戻って、学習を見直すことができるように構成されています。そういった点で、算数の苦手な児童への工夫、配慮がされている教科書でした。また、「おぼえているかな」という項目では、既習内容をとことん復習するための問題があり、

こういった点も、児童にとって分かりやすく、理解が深まる構成がされている
と思い、東京書籍を選びました。

(その他意見等なし)

栢沼教育長…それでは採決に移ります。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍…2票
学校図書…3票
教育出版…0票

栢沼教育長…採決の結果、賛成多数により「学校図書」を令和2年度使用小田原市小学校算
数の教科用図書として採択いたします。

栢沼教育長…続きまして、理科の協議を行います。理科は「大日本図書」「啓林館」の2社
が候補となっておりますので、委員の皆様から御意見を伺います。

萩原委員…私は啓林館を推薦いたします。各学習が、日常生活に密着する、流用性の高い
ものであることが感じられる編集がされていました。また、子供同士の対話から、
問題解決への流れを作る工夫が見られます。写真のアングルがとてもよ
く、インパクトがあり、児童の興味を引くと思います。また、実験や観察の単
元では、結果、考察、結論の過程を丁寧に示しており、もっと知りたいと思っ
たときにも、新しい設問が用意されています。各学年の巻末には、「フクロウ
博士の資料室」があり、理科に必要な技能を分かりやすく整理しています。以
上の理由から啓林館を推薦いたします。

森本委員…私は大日本図書を推薦します。理科の学習を通して子供たちが楽しんで学べる
ように、意欲をかりたてるような工夫をされていました。特に印象に残ったの
が、6年生の「体のつくりとはたらき」のところで、問題、予想、調べる、実
験、結果、考察という過程をふんで、それを分かりやすい図や写真を取り入れ
ており、子供たちに理解しやすいように工夫している点、全体的に分かりやす
い図や写真を取り入れて構成されている点が印象に残りました。

吉田委員…私も大日本図書です。課題発見から計画を立てて記録していくという学び方が
分かりやすく、理科ノートの書き方という扱いが、子供たちの勉強になると思
いました。先生方にとっても指導しやすいテキストではないかと思いました。
また、社会の中の一つの分野として、環境や命、伝統文化といったものにつな
げているという点も、理科の学びが、子供たちの生活に役立つ教科書になっ
ていると思い、大日本図書を選びました。

和田委員…どちらを選ぶか、とても悩みました。熟慮した結果、大日本図書を選びまし
た。しかし、啓林館の、「不思議」ということで統一された学びの方法は、評

働けると思い、非常に迷いました。その中で、大日本図書を選んだ理由は、科学というのは、記録を残すということが非常に大切なことで、いくら観察や実験をしても、記録がなければ科学的な証明にはなりません。理科ノートの書き方ということを取り上げて、丁寧に説明している点がよいと思いました。また、問題解決のプロセスを経た後に、「理科のたまたまばこ」というものが随所にあり、学習した内容に関連した情報を示すことで、理科に対する興味、関心を深める配慮がされています。さらに、高みを目指して「サイエンスワールド」があるのもよいと思いました。これらの点で、大日本図書を選びました。

栢沼教育長…私は啓林館を推薦します。全体的に教科書サイズがコンパクトでよいと思いました。各学年とも、単元の導入で、児童の身近にあるものに着目させていたり、遊んだりする内容を紹介する活動の場面が設けられていました。「理科の広場」では、単元の学習内容に関連する体験活動が取り上げられており、それが充実している点、対話的な学びという大切な要素からみると、「問題をつかもう」ということで、子供同士の話し合いから問題を見つけるようにしている点などから、対話的な学びにつなげている構成になっている教科書であると思いました。

(その他意見等なし)

栢沼教育長…それでは採決に移ります。(1社ずつ、挙手による多数決)

大日本図書…3票

啓林館…2票

栢沼教育長…採決の結果、賛成多数により「大日本図書」を令和2年度使用小田原市小学校理科の教科用図書として採択いたします。

栢沼教育長…続きまして、生活の協議を行います。生活は「東京書籍」「学校図書」「光村図書」の3社が候補となっておりますので、委員の皆様から御意見を伺います。

和田委員…3社それぞれに特徴があり、こちらも悩みましたが、協議の中で、皆さんの意見を伺い、参考にしながら判断しました。私は東京書籍を選びました。生活の特徴は、様々な分野に領域がつながっているという意識を明確にするという点にあると思います。日常生活の中で、生活というものをとても大事にしている、それが何のためかという、現在、世の中が分断傾向にあり、つなぐということに生活の意味があると考えます。そういった視点で判断しました。身の回りの自然、社会のようすを分かりやすく学習できるような配慮と工夫が具体的に示されているという点で、東京書籍を推薦することにしました。「ポケット図鑑」というものもあり、よい作りであると思いましたし、「活動便利帳」

で、生活の拡張が図れるという点でも、東京書籍の教科書がよいと思いました。

吉田委員…私は学校図書を選びました。和田委員の発言にもあったように、どれもよかったのですが、対話の場面を大事にし、よく扱っていると思いました。紙面の見やすさの点でも、とてもすっきりしていて、話し合いも進むのではないかと思いますし、構成が見開きで、全体に統一感があり、安心して学べる教科書ではないかと思い、学校図書を選びました。

森本委員…私も学校図書を推薦します。子供の自己の決定の場や、対話の場面を大切にされて、「ありがとう」という感謝の気持ちを、子供たちに常に持ってもらうよう、大切にしている教材もよいと思いました。日常の活動を通して、公共におけるマナーなどの安全な行動や、規則正しい生活ができるように、注意やマーク、イラストなどで工夫されて構成されていると思いました。また、写真やイラストなどが大きく、見やすいので、分かりやすいと思いました。

萩原委員…私は光村図書を推薦します。スタートカリキュラムで、就学前の児童の活動を踏まえながら、小学校生活へとスムーズに導入できるような配慮と、子供たちが安心して、自信を持って、また、好奇心を育むような問いかけや言葉が使われ、元気になれる詩が載っていたのが印象的でした。自然との関わりから、生命の尊重、道徳性や規範意識の芽生えなど、共同して自立ができる思考力を芽生えさせるといったことを保証するような内容もよいと思います。各単元が、「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」に分かれており、「ホップ」では、計画、学習の見通しを立て、主体的に学び、「ステップ」では実践の活動への具体的なヒントが書かれており、「ステップ」では、振り返りを行い、学んだことを深めていくような構成になっています。学期末には、ジャンプのページにコメントを書いたシールをまとめて貼り、「ジャンプ大集合」としてまとめて、年間の成長を見ることができるようになっている点がよいと思います。以上の点で光村図書を推薦します。

栢沼教育長…私は光村図書を推薦します。質の高い気づきを高めるということが、生活では非常に重要であると思います。光村図書では、各単元にある「ジャンプ」で、学習過程の中で、気づきの質が高まっている児童の発言例が豊富に示してあったり、発言や考えさせたいポイントが、ページの下や横に「どうすれば」というコーナーとして取り上げられています。気づきを高めるのに有効な構成で、また、単元導入時の発問や言葉かけなどが示されており、若手教員には授業で使いやすく、分かりやすい教科書であると思います。

和田委員…先ほど申し上げたように、どの教科書もよいため、非常に悩んでいます。今、萩原委員と栢沼教育長の発言にあったような、光村図書のよさにも気がついて、「ジャンプ」に気づいたことや、さらにしたいことを、シールが用意されているので、書いて貼っていくという動作があること、また、工藤直子さん

の詩があり、よい詩であると思っているので、最終的にどの出版社にするか悩んでいます。

(その他意見等なし)

栢沼教育長…それでは採決に移ります。(1社ずつ、挙手による多数決)

東京書籍…0票

学校図書…2票

光村図書…3票

栢沼教育長…採決の結果、賛成多数により「光村図書」を令和2年度使用小田原市小学校生活の教科用図書として採択いたします。

栢沼教育長…続きまして、音楽の協議を行います。音楽は「教育出版」「教育芸術社」の2社が候補となっておりますので、委員の皆様から御意見を伺います。

萩原委員…両社とも、音楽を生活に取り入れることで、音楽的な見方や考え方を働かせる学習というものを具現化しており、心を豊かにすることを目的とした基本的な考え方などが反映されて、編集されています。とても悩みましたが、教育出版の教科書を推薦いたします。楽譜の読み方を3年生で学習しておりますが、透明シートを採用していて、全音符から8分音符までの音の長さをグラフで表したり、五線に音符を並べて、透明シートを重ねながら主体的に学べるような工夫がされており、音楽の基礎である楽譜の学習を、非常に丁寧に解説をしながら扱っていました。5年生のオーケストラについて学ぶ単元でも透明シートが使われており、オーケストラの配置などが見える化して、子供たちの興味を引くと思いました。演奏や合唱曲などの選曲についても、子供たちになじみのある曲や、外国の歌には、楽譜と歌詞を載せており、リコーダーで演奏する、合唱するなど、どちらでも扱えるような工夫がありました。また、巻頭には、音楽を仕事にしているプロの方の手記が紹介されていて、とてもよいと思いました。以上の理由から教育出版を推薦します。

森本委員…私は教育芸術社を推薦します。子供たちの心が音楽で通じ合い、学びと社会がつながることをコンセプトに編集されていて、3つのつながるキーワードを設定しています。「音楽で子供と生活や社会がつながる」「音楽で子供と子供がつながる」「音楽の学びがつながる」といった内容が分かりやすく構成されており、よいと思いました。また、スタートカリキュラムでは、小学校に入学したばかりの子供たちが、安心して授業に取り組めるよう工夫されていました。低学年では体を動かしながら歌えるわらべ歌や、遊び歌を取り上げたり、楽しくリズム打ちをする活動を取り入れたり、音楽活動を通して、友達作りができる

ような工夫がありました。絵や写真、図の構成、配列が分かりやすく、子供たちが興味を持ち、学習への意欲が沸くのではないかと思います。

吉田委員…私も教育芸術社がよいと思いました。教材の配列については素晴らしいと思いましたし、演奏家のアドバイス等がある点や、「ドレミふうせん」というものがあり、子供たちが楽しく音を感じ取ることができるというような工夫もありました。また、森本委員からもありましたが、スタートカリキュラムで、安心して音楽の学びに入っていけるのではないかと思います、工夫されている点もよいと思いました。複数の曲が関連付けて選曲されていることや、選択することができる点も特徴であると思いましたので、教育芸術社を選びました。

和田委員…両社の教科書を比較するのに、1年生から3年生までの扱いと、4年生から6年生までの扱いの2つに分けて考えました。4年生から6年生までの扱いについては、両社あまり差がありませんでした。1年生から3年生までの取り扱いについては、差があるように感じました。単元ごとの情報量の多さという点では、教育芸術社の方が適度であると思いました。特に、1年生では、音楽の基本である拍を感じることに時間を取っており、基本を習熟させることが大切なので、こういった点は重要であると思います。全体として、音楽は情操や感性を育てるものとして捉えることがよいと思いますので、教科書は単純明快で、見た目にも美しいことが望ましいと判断し、教育芸術社を選びました。

栢沼教育長…私も教育芸術社を推薦します。全体的に、学年間で既習内容の積み重ねができるように教材が設定されている点、特に器楽については、リコーダーの指使いが分かりやすいように、不得意な子の視点で載せられており、分かりやすい教科書だと思いました。1、2年生の歌唱教材については、歌詞のみを読む段階から入っているという点や、鑑賞については、1、2年生では遊びなどの拍子の認識から入っており、児童の発達段階に応じて、適切に選択されている教科書であることから、教育芸術社を推薦いたします。

(その他意見等なし)

栢沼教育長…それでは採決に移ります。(1社ずつ、挙手による多数決)

教育出版…1票

教育芸術社…4票

栢沼教育長…採決の結果、賛成多数により「教育芸術社」を令和2年度使用小田原市小学校音楽の教科用図書として採択いたします。

栢沼教育長…続きまして、道徳の協議を行います。道徳は「教育出版」「光村図書」「学研教育みらい」の3社が候補となっておりますので、委員の皆様から御意見を伺います。

和田委員…光村図書がよいと思います。表紙の絵がやわらかく、心をなごませるような作りになっているのがよいと思います。各学年の表紙裏のページに必ず詩があり、みんなで声に出して読むようになっており、また、詩の内容も道徳的な意味合いを感じさせるものになっています。スポーツ選手などもそうですが、ルーティーンをして、始めるぞという気持ちに入るといったことがあり、みんなで声に出して詩を読むということが、毎学年繰り返して行われていることがよいと思いました。道徳は、ただ知識として習得していけばよいというものではなく、生活につながっていかないと意味がないものであると思っています。光村図書の最初の数ページで、道徳の時間は、今よりもっとよい生き方ができるように考えていく時間であるという説明から始まり、様々な考え方があることを大切にし、みんなで考えていくことを呼びかけ、最後に、考えたことは毎日の生活の中で生かしていくよう、道徳の目的につなげています。これも毎学年繰り返し載っています。1回だけ知識を学んだからといって身に付くものではないので、1年生から6年生まで繰り返していることに、この教科書の特徴があると思い、光村図書を選びました。

吉田委員…私は学研教育みらいを選びました。写真や挿絵が心に伝わるようなよいものであると感じました。子供たちが興味を持って道徳の学びをするようなイメージの写真や挿絵が使われています。また、子供たちへの問いかけが、自分たちで考えたり、振り返ったりできるような問いかけ方で、先生が子供たちに問いかけながら一緒に考えて進めていけるような教科書であると感じましたので、学研教育みらいがよいと思いました。

森本委員…私も学研教育みらいを推薦します。吉田委員からもありましたが、教材の中の写真や挿絵にインパクトがあり、子供たちを学習に引きつけられるような工夫がしてありました。いじめの防止につながる教材や、いじめに関連する様々な内容を豊富に取り上げており、生命の尊重を考え、他者と共によりよく生きることについて子供たちが考えられるように、配置などが工夫されていると思いました。

萩原委員…私も学研教育みらいを推薦します。いのちの大切さについてどのように扱っているか、主体的、また多面的に考えることができるような授業ができるかどうか、学級の実態に沿った学習の展開がしやすいか、などの観点から調べました。各單元には、主題をあえて載せておらず、本文を読み終えた後に考えるための問いかけが少なめに用意されているシンプルな作りでした。各單元の物語に、誰について学ぶのかということを表すアイコンが付いており、自分のこと、社会と私のこと、あなたと私のこと、いのちや自然と私のこと、という表示がされており、考えるヒントになると思いました。また、巻頭には自分のプ

プロフィールを書くページが、巻末には自分を振り返るページがあり、他の児童や家族からメッセージをもらえる作りになっていました。現代的な課題として、情報モラルやキャリア教育、伝統文化の継承など、全学年を通して扱っていました。また、日本各地に関連した内容を掲載している点も興味深く、子供たちの視野が広がる教材であると思い、学研教育みらいを推薦します。

栢沼教育長…私は学研教育みらいを推薦します。いのちの教育が充実した教科書であると思います。いのちと生き方を柱とし、生命の尊重が重視され、全学年で系統的に配慮されています。学級の実態や教師の実力に応じて、学習の展開が多様に行える点、若い教員からベテランの教員まで、全体的に使いやすさを追求された教科書になっている点などから、学研教育みらいを推薦します。

(その他意見等なし)

栢沼教育長…それでは採決に移ります。(1社ずつ、挙手による多数決)

教育出版…0票
光村図書…1票
学研教育みらい…4票

栢沼教育長…採決の結果、賛成多数により「学研教育みらい」を令和2年度使用小田原市小学校道徳の教科用図書として採択いたします。

栢沼教育長…本日採択されました教科用図書について確認します。

算 数…学校図書
理 科…大日本図書
生 活…光村図書
音 楽…教育芸術社
道 徳…学研教育みらい

栢沼教育長…以上でよろしいでしょうか。

(意見等なし)

(4) 日程第2 議案第36号 令和2年度使用中学校教科用図書の採択について

(教育指導課)

教育指導課長…それでは御説明申し上げます。

小田原市立中学校で現在使用している特別の教科道徳以外の教科書につきましては、本年度が使用開始から4年目の最終年度となっておりますので、来年度に向けて採択替えを行う年となっておりますが、本年度新たな教科書が発行されませんでした。

このことから、平成31年4月の教育委員会定例会で議決いただきました教科用図書採択方針において、平成27年度採択における調査研究の内容や4年間の使用実績を踏まえ採択することとしております。

採択検討部会からは、現在使用している教科書を変えて欲しいという意見はなく、新たに採択する必要はないと報告を受けております。

議案書をめくっていただいた資料の上段が、平成28年度から令和元年度まで使用している教科用図書の一覧でございます。

下段につきましては、現在中学校で使用されている特別の教科道徳の教科書でございます。

中学校の特別の教科道徳の教科用図書につきましては、昨年度採択をいただき、令和元年度から使用しているもので、令和2年度まで同一の教科書を継続して採択することになっております。

以上の教科用図書を令和2年度も引き続き採択することについて御審議いただくものです。よろしくお願いいたします。

栢沼教育長…それでは、令和2年度使用小田原市中学校教科用図書について、協議します。事務局から議案説明がありましたとおり、新たな教科書が発行されませんでしたので、改めて調査研究は行わず、これまでの使用実績をふまえて採択することとなっております。採択検討部会からは、現在使用している教科書を変えてほしいという意見はなく、新たに採択する必要はないとの意見を受け、各委員の意見を伺いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(質疑・意見等なし)

栢沼教育長…令和2年度使用小田原市中学校教科用図書は、現在使用している教科書を継続使用することとし、

国語…三省堂

書写…光村図書

社会（地理的分野）…帝国書院

社会（歴史的分野）…教育出版

社会（公民的分野）…教育出版

地図…帝国書院

数学…東京書籍

理科…大日本図書

音楽（一般）…教育芸術社

音楽（器楽）…教育芸術社
美術…開隆堂
保健体育…学研教育みらい
技術家庭（技術分野）…東京書籍
技術家庭（家庭分野）…開隆堂
英語…開隆堂
道徳…光村図書
これらをまとめて採決いたします。
賛成の方は、挙手願います。

（全員 挙手）

栢沼教育長…全員の賛成により、令和2年度使用小田原市中学校教科用図書は、現在使用している教科書を継続して使用することに決定しました。

栢沼教育長…それでは、先ほど非公開とすることにいたしました案件以外の議題は終了いたしましたので、非公開とすることにいたしました案件を議題といたします。
非公開とする前に、委員、又は事務局からその他何かありますか。

（特になし）

栢沼教育長…ないようですので、非公開といたします。関係者以外の方は御退席ください。

（関係者以外退席）

（5）報告事項 小田原市学校給食センター整備基本構想（案）について【非公開】

学校安全課長…それでは、私から報告事項「小田原市学校給食センター整備基本構想（案）」について、御報告させていただきます。

まず、資料の確認でございますが、A4版の「小田原市学校給食センター整備基本構想（案）」と、右上に資料1とありますA3版2つ折り4ページの概要版でございます。

本日は、資料1の概要版にて、御説明いたします。

まず、資料1の1ページを御覧ください。「1 本構想の位置づけ」でございますが、本市の給食施設は、古いもので築年数にして50年以上、それ以外でも築30年を経過した施設が大半を占め、老朽化が進み、現在の「学校給食衛生管理基準」と照らし合わせると改善すべき点が多いのが現状であります。

また、平成 26 年度に設置された「小田原市学校給食のあり方検討委員会」における議論の中でも、給食施設の老朽化や学校給食の実施方式の検討および在り方について報告され、学校給食センターについては、「将来的に建替えを検討していく必要がある。」とされております。本構想を定めることにより、今後の具体的な設備や整備地等の検討が円滑に行われることを目的としています。

次に、「(2) これまでの検討経過」ですが、平成 26 年度には、検討委員会の検討結果を教育委員会委員の皆様へ報告しております。その後、平成 27 年度から学校給食センターの整備手法等について教育委員会内部で検討してまいりました。平成 29 年度には関係各課との調整も行っております。そして、表の下から 2 行目にありますように、平成 30 年度には、本市総合計画（第 3 次実施計画）に学校給食センター建替事業の検討が追加され、小田原市公共施設再編基本計画にも、再編方針として建替えが位置付けられたところがございます。

次に、資料 2 ページ「2 現在の学校給食センターの現状と課題について」でございます。学校給食センターは、昭和 47 年に建築され、築 47 年が経過しております。現在、中学校 8 校分の 3,859 食を調理しており、他の給食施設と比較すると食数も多く、「(2) 現学校給食センターの課題」の A のとおり、換気設備や給排水設備の老朽化は著しく、多くの大型調理備品も耐用年数を超過し、いつ調理が出来なくなるかわからないという心配がございます。

また、イとして、衛生区分が不明確であったり、ドライシステムも未導入であり、作業動線が輻輳しております。

ウとして、現在、中学校給食では実施していないアレルギー除去食の対応、エとして、今後 30 年で児童・生徒数 5,400 人の減少が見込まれる食数減への対応も検討していかなければなりません。

そこで、資料の中ほど「3 中学校給食施設の整備について」、学校給食実施方式の視点から検討いたしました。「小田原市学校給食のあり方検討委員会」では、単独調理校方式が望ましいとされましたが、各実施方式における導入するための課題と整備運営費用等で比較・検討した結果、表にありますとおり、一番左の「単独調理校方式」では、他の 2 方式より整備・運営費用がかかり、また、校内での用地確保という難しさがあります。

中央の「親子調理方式」では、他の 2 方式より整備・運営費用は安いものの、自校以外の給食を調理する場合、建築基準法上の用途が工場となり、用途地域上の制限があります。また、調理能力が不足するため施設拡張が必要となってまいります。

これらのことから、学校敷地への影響を最小限とし、かつ、将来の財政負担の軽減が見込める「共同調理場方式」で整備するのが最善の実施方式であると結論付けました。

次に、ページ下段の「(2) 中学校給食施設の整備方針」ですが、「共同調理場方式」で整備するにあたり、日々給食を提供している状態での現在地建替えは、工事期間の確保ができないことから新しい用地への新設とします。食数減への対応としては、資料3ページの図アの第一段階、これは令和6年を想定しておりますが、ここにあるように、現在の中学校8校分の3,800食で施設整備しますが、将来的な児童生徒数の減少を見込み、図イの第二段階、これは令和21年を想定しておりますが、このように現在、3共同調理場で対応している中学校3校分を段階的に移行、統合することで、将来の財政負担軽減や運営の効率化を図ります。

次に、「4 学校給食センターの整備について」では、(1)に基本的な考え方を整理しました。

アとして、衛生管理の徹底を図り、調理場内を良好な状態に保つことで、安全で安心な学校給食を提供します。

イとして、栄養バランスに配慮したおいしい給食の提供や、郷土食や伝統料理など小田原ならではの食文化を伝承する給食の提供など、魅力ある学校給食を提供します。

ウとして、「生きた教材」として、さらに活用されるよう食育の推進に取り組みます。また、食材を通じて地域の自然や文化、産業に関する理解を深め、そこに携わる方への感謝の気持ちを育む観点からも、地産地消を推進します。

エとして、大規模災害発生時、ライフライン復旧後の炊き出しが行える施設とします。

オとして、補助金の活用が可能である整備方式で検討し、調理員も全面委託することで財政負担の軽減を図ります。

(2)では、学校給食センターの整備・運営方針を整理しましたが、アの「学校給食衛生管理基準」の遵守として、汚染作業区域・非汚染作業区域及びその他の区域に部屋単位で衛生区分を明確化することによるリスク分散、作業工程が一方通行となるような諸室の配置床からの跳ね水による食中毒菌の二次感染を防ぐことができる「ドライシステム」の導入、学校給食衛生管理基準に準じて、調理場は湿度80%以下、温度は25℃以下に保つ、空調および換気設備を設置します。

イとして「児童、生徒に必要な「食育」の推進」として、調理工程の見学コースを設置します。

ウとして「食物アレルギー対応食の実施」として、専用の調理室を設置し、アレルギー対応食としては、4段階で上から2番目のレベル3にあたる除去食対応を実施します。

エとして「適温かつ調理後2時間以内の給食提供」として、配送条件に適した距離となる建設用地に整備し、効率的な配送計画を組み立て、適温かつ調理後2時間以内に給食提供できるようにします。

オとして「単独調理場方式の良い部分の取り入れ」については、単独調理場方式の良い部分として、児童・生徒と栄養職員等とのコミュニケーションがあげられます。専用見学通路の設置や学校訪問などで、ふれあいの機会増やし、単独調理場（自校）方式の良いところをできる限り取り入れられるよう運営します。

これまで御説明させていただきました内容をもとに、新給食センターの施設概要を示したものが、資料4ページの（3）となりますが、調理食数は令和6年度中の1日あたりの食数として3,800食、また、配送校は現在と同じ8中学校です。建設用地は、建設可能な用途地域であり、調理後2時間以内の喫食が可能な距離に位置していることなどが条件となります。また、敷地規模は、1日あたり3,800食を調理した場合、施設面積や建ぺい率等から約4,000㎡となります。

次に、同じく資料の4ページ「5 民間活力の導入について」ですが、表のとおり、4種類の整備手法で検討いたしました。

一番右側のリース方式では、補助金の活用ができません。

一番左側の従来方式では、民間の資金活用はないものの起債にて、平準化が図れますが、設計・建設の入札期間がかかること、仕様発注・分離発注によるコスト増などのデメリットがあります。

左から2番目のPFI（BTO）方式では、SPCという特定目的会社を設立する設立・運営経費がかかるのと、PFI法に基づく手続きに日数がかかりますが、管理責任がSPCに1本化できるメリットもあります。

DBO方式については、PFI方式と従来方式の中間的な整備手法であり、PFI法に基づく手続きがなく、性能発注、一括発注によるコスト縮減が図れます。

これらのことから、資料（1）「事業手法の検討」アにありますとおり、性能発注・一括発注によるコスト縮減や財政負担の平準化、安全かつ質の高い学校給食の継続、補助金の活用により更なる財政縮減が見込まれるPFI方式（BTO）またはDBO方式が本事業の手法に適していると言えます。

ただし、イにありますとおり、民間活力の導入を図った場合でも、安全で安心な給食を実施するためには、行政の関与は必要不可欠です。民間活用型であっても、献立作成や食材発注、検食等は従来どおり市が行う業務範囲とします。また、ウとして、今後、導入可能性調査を業務委託し、整備スケジュールや事業費の精査、VFMの試算、民間事業者の考え方の調査等を行い、総合的に評価した上で最適な事業手法を決定することとします。

最後に、ページ下段「6 事業スケジュールについて」です。これは、民間活力の導入により整備等を進めることを前提とした場合のスケジュールになりますが、導入可能性調査を令和元年12月頃、プロポーザル方式で事業者選定を

行い、令和元年12月から令和2年6月頃の業務期間で導入可能性調査業務委託を実施いたします。

導入可能性調査業務委託を基に、令和2年6月頃までに整備手法の決定を行い、PFI方式に決定した場合は、令和3年5月頃まで要求水準書等の作成を行い、令和3年度にPFI法による事業者募集手続きから事業者選定・契約を行います。

設計、建設期間を約2年半と想定し、令和6年5月頃に建設工事が完成し、調理器具の取扱いや調理・配送リハーサル等の開業準備を行い、令和6年9月からの給食提供を予定しています。

導入可能性調査において、より最適な事業手法があった場合は、給食提供年度についても見直しますが、給食提供を行うためには調理器具の取扱いや調理・配送リハーサル等の開業準備期間が必要となるため、年度に関わらず、夏季休業明けの9月からの給食提供とします。

報告は以上となりますが、最後に、学校給食センターの現状について、「小田原市学校給食センター整備基本構想（案）」を御覧ください。7ページをお開きください。写真がございしますが、下段の左側、こちらが西側の外壁で、だいぶ汚れている状況があり、右側についてはクラックが走っている状況が御覧いただけます。次に8ページを御覧ください。左の上のところが調理場の床ですが、だいぶ凸凹な状態になってしまっております。また、その下のところ、中段の左側ですが、給湯管、配水管が錆で腐食しているのが見られます。一番下段の右側については、調理場の様子になりますが、排水溝の破損の状況が見られます。このように老朽化の状況を御理解いただけるかと存じます。

以上で報告を終わらせていただきます。

(質疑)

吉田委員…検討委員会では、単独調理校方式がよいと出ていたけれど、予算などを考えて共同調理場方式にするということで、後ろの説明に出てきましたが、単独調理校方式のよさというのは、検討委員会では、3ページのオにあるような、調理している方とのコミュニケーションや、調理している様子を子供たちが見ることができるほうがよいという意見だったのでしょうか。

学校安全課長…そのような意見であったとは思われますが、当時の資料手元になく、具体的に、新しい施設に見学通路を設置するといった議論まであったかは分かりませんが、このような主旨の議論があったと把握しております。

吉田委員…検討委員会では、単独調理校方式がよいという意見が大勢を占めていたけれど、共同調理場方式でも工夫しだいで、そのよさが取り入れられるという判断に至ったということでよいでしょうか。

学校安全課長…資料の中で比較しておりますが、様々な条件の中で、共同調理場方式しかないのではないかと考えております。その中でも、単独調理校方式のよさを取り入れていくということで考えています。

吉田委員…専用見学通路を作っても、中学生がこれを見に行く機会はあるのでしょうか。

学校安全課長…完成したら、食育の学習などの一環として、ぜひ機会を作って見に来ていただきたいと思います。

萩原委員…アレルギー対応の食数については、現在どのくらいを想定しているのでしょうか。

学校安全課副課長…現在アレルギー対応が必要な子供については、給食センターで行っているアンケートでは、80名が、アレルギー品目があると回答しています。実際に給食に使う食材については、約59食の対応ができれば、学校給食センターで担っている分については、全生徒について、まかなえる計算になっています。学校給食センターでアレルギー対応食を調理する部屋の大きさについては、将来を考え、100食くらいで想定しています。

(その他質疑・意見等なし)

7 教育長閉会宣言

令和元年9月24日

教 育 長

署名委員（吉田委員）

署名委員（森本委員）